

◆活動団体

団体名：豊田ほたる街道の会（主たる活動団体 檜原ゆうあい会）

連絡先：TEL 083-766-1397 メール：sbtt88@ybb.ne.jp

URL：

◆活動内容

下関市豊田町檜原。室町時代、大内氏が朝鮮貿易のために整備活用した肥中街道の最重要地であったことから、筑前守護代の右田（陶）弘詮を配置した。文武両道の弘詮はこの地に館を構え、肥中浦から博多に赴き日明貿易を差配する一方、今なお現存する「吾妻鏡」の書写や源氏物語画帖などを作らせた。

2007年（平成19年）から弘詮の母の菩提寺妙栄寺を拠点に、弘詮、肥中街道、館跡、街道の鎮守、諏訪山城跡など歴史と自然を活かした郷づくりを推進。向上した地域環境と保存された史蹟は市民の散歩や歴史街道ウォーク、郷土史講座、山城と歴史探訪会、児童の自然体験学習や大学生の地域経営研修などに活用されている。



肥中街道整備と歴史街道ウォーク



毎年3月の第1日曜日は街道整備の日。地元の人や多くのボランティアが集まり街道の保全作業に爽やかな汗を流す。



4月13日。第12回梨の花ウォーク。肥中街道は20km歴史コースとして多くの人が土を踏みしめ、思いを巡らす。

山城サミットと諏訪山城現地ガイド



8月18日。山城サミット夏の陣。三浦広大名誉教授から「中世の山城」について学び諏訪山城など市内の山城を紹介した。



12月8日。山城サミット冬の陣。夏の陣で学んだ多くの人が、諏訪山城と肥中街道の現地ガイドに参加した。

郷土史講座と夏期地域研修



11月24日。第13回郷土史講座。益田市教育委員会 中司主任から「益田氏と陶氏」について学ぶ。



8月21日。妙栄寺。大学生の夏期地域経営研修受け入れ。地域課題の解決法について話合う。

景観向上と里山整備



6月23日。県道ホタルロード沿い花を植える。総延長700m。通年、ボランティアが管理している。



2月27日。肥中街道沿いの里山でカワズサクラが咲いた。1haの山林が「学びの森」として整備され、次々に花が咲いている。